

第8回 NRC全国キャラクター調査

【Part1 ご当地キャラクター編】

2021年12月調査結果



株式会社日本リサーチセンター

東京都墨田区江東橋4-26-5 URL: <https://www.nrc.co.jp/>

日本ではマンガやアニメなどに登場するキャラクター人気が高く、キャラクターを商品化したビジネスも盛況ですが、キャラクター市場の実態としてどのようなキャラクターが認知され、好感をもたれているでしょうか。

上記を把握するため、弊社は2014年から毎年秋に、自主調査企画として「NRC全国キャラクター調査」を実施してきました。2021年の第8回は調査実施が12月とずれましたが、（第6回までは10月、第7回は11月）例年と同じく、調査手法は訪問留置によるアンケートです。（注1）

今回調査では、ご当地キャラ17種、企業キャラ14種の合計31キャラクターについて、認知度と好感度を質問しました。（注2）レポートは、Part1～Part2に分けて弊社HPで公開します。本篇Part1は、ご当地キャラクター（17種）の結果紹介となります。

（注1）本調査は、**NOS（日本リサーチセンターオムニバス調査）**を利用しています。

アンケート登録パネルを使ってインターネットで簡単に情報収集できる時代になりましたが、NOSでは50年にわたって、「調査員を使った訪問留置」、「パネルモニターではない毎回抽出方式」で調査を継続しております。

日本全国の15～79才男女個人1,200人について、地域・都市規模と性年代を日本の人口構成に合うように回収していますので、全体比率は、地域や年代等の偏りがいい結果としてご覧になることができます。

（注2）キャラクターは名前のみで、画像提示は行っておりません。

全体結果

提示したご当地キャラクター17種の中の認知度は、

▼「くまモン」と「ふなっしー」は、9割超と高く、
次いで、「ひこにゃん」73%、「せんとかん」72%が7割以上でした。

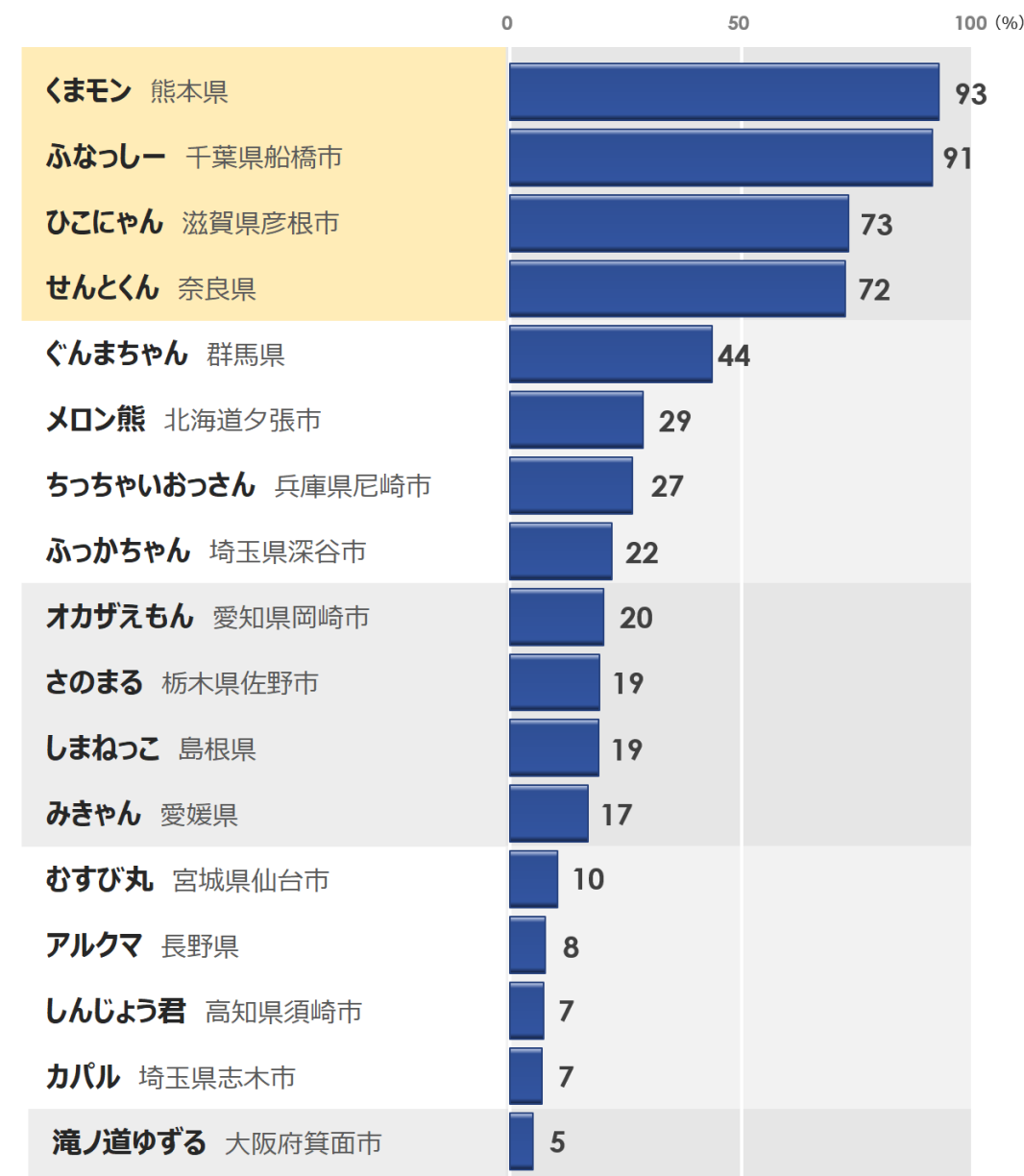
▼その次は5割を切りますが、「ぐんまちゃん」44%、「メロン熊」29%、「ちっちゃいおっさん」27%が続きます。

次の「ご当地キャラ」のうち、あなたをご存知のものはどれですか。知っているものをすべてお知らせください。（〇はいくつでも）

認知度

(n=1,200)

※多いもの順に並べ替え



ご当地キャラクター17種の中の好感度は、

▼「くまモン」が41%と高い結果でした。

▼次いで、「ふなっしー」が26%、「ひこにゃん」が18%、「ぐんまちゃん」が10%と、好感度が1割以上はこの4キャラクターのみです。

▼1位の「くまモン」と2位の「ふなっしー」の差は15ポイント。「ふなっしー」と「ひこにゃん」では8ポイント差、「ひこにゃん」と「ぐんまちゃん」では8ポイント差と、上位4キャラクター間でも好感度に関きがみられました。

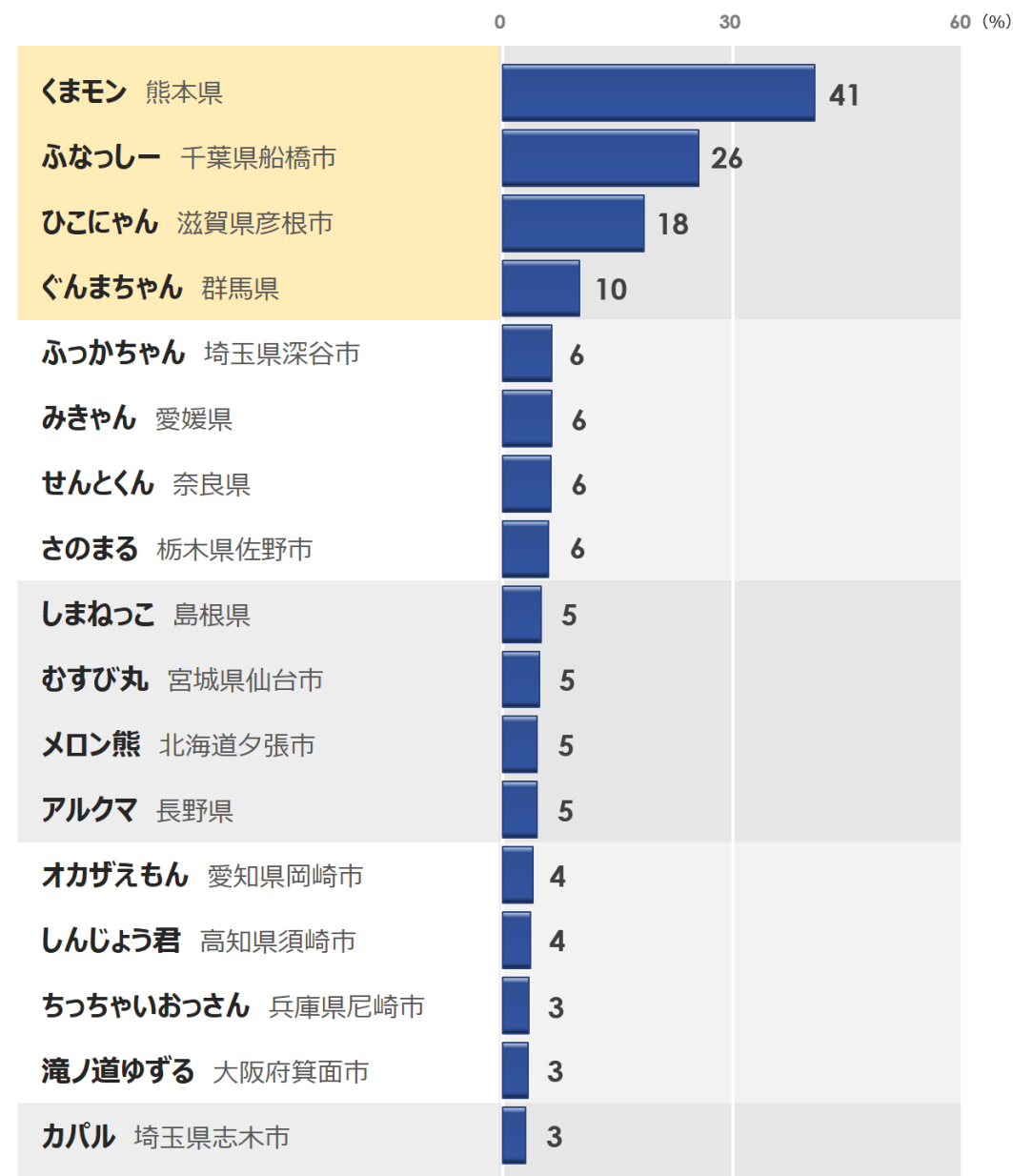
▼認知度が72%と高かった「せんとかん」は、好感度では6%と低めでした。

そのうち、あなたがお好きな「ご当地キャラ」はどれですか。（〇はいくつでも）

好感度

(n=1,200)

※多いもの順に並べ替え



時系列での変化をみると、

▼「ふなっしー」の認知度は、2014年から2021年まで9割前後と安定しています。

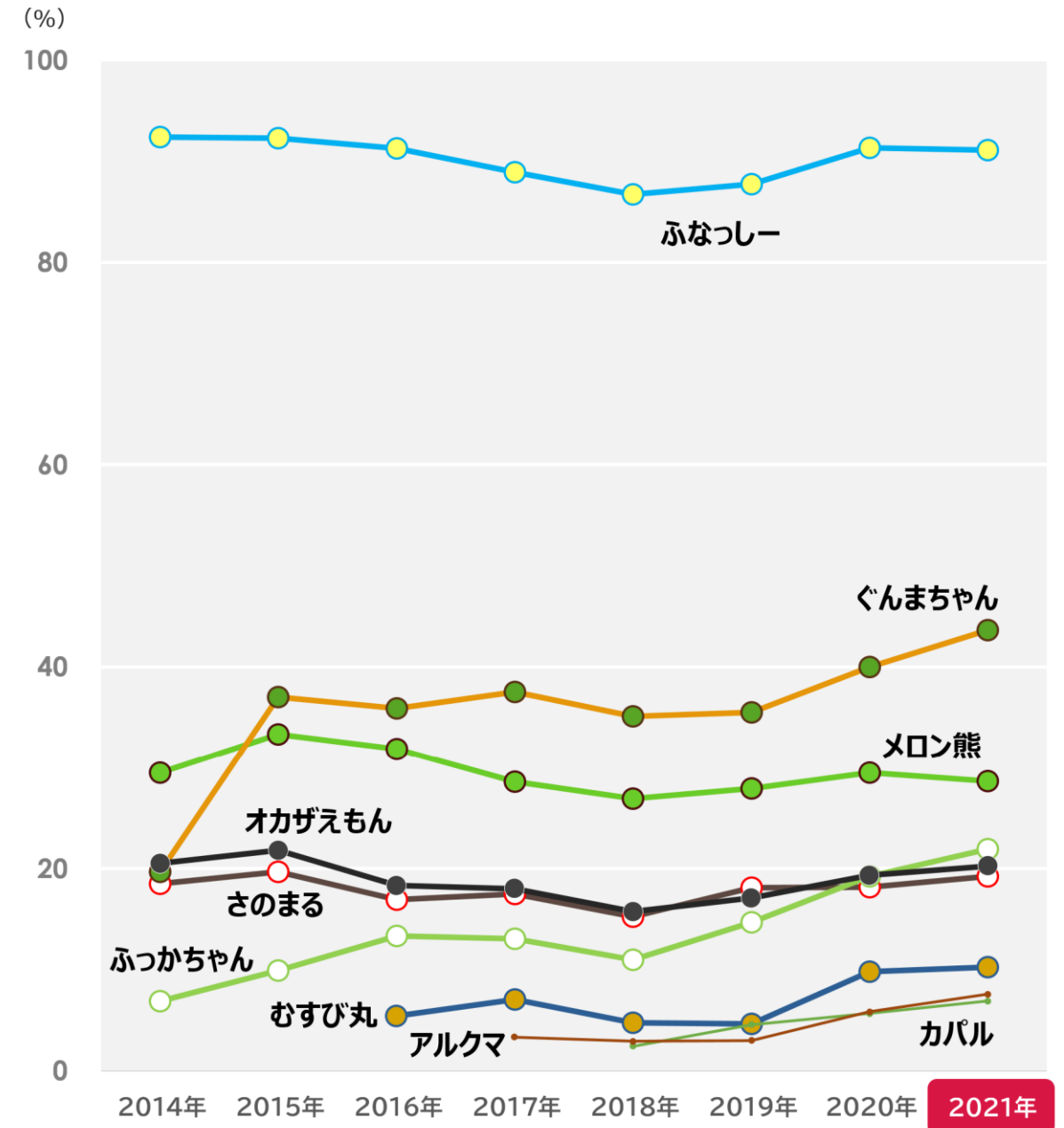
▼「ぐんまちゃん」は、2014年 20%→2015年 37%と、1年間で17ポイント上昇した後に、2019年までは約35%と安定していました。さらに、2020年は40%、2021年は44%と上昇傾向にあります。

▼「ふっかちゃん」も2014年には7%でしたが、2021年は22%と認知度が上昇傾向です。

認知度 ①北海道～中部のご当地キャラ

(n=1,200) 注：「-」は聴取なしを示す

		2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
北海道・東北	メロン熊	30	33	32	29	27	28	30	29
	むすび丸	-	-	5	7	5	5	10	10
関東	さのまる	19	20	17	18	15	18	18	19
	ぐんまちゃん	20	37	36	38	35	36	40	44
	ふっかちゃん	7	10	13	13	11	15	19	22
	カバル	-	-	-	-	2	5	6	7
	ふなっしー	92	92	91	89	87	88	91	91
中部・北陸	アルクマ	-	-	-	3	3	3	6	8
	オカザえもん	21	22	18	18	16	17	19	20



時系列での変化をみると、

▼「くまモン」は2014年から2020年まで一貫して9割以上と安定した認知度を保っています。

▼「せんとかん」は、2014年 74%→2017年 64%と減少傾向でしたが、2018年から増加に転じ、2020年から72%に上がっています。「ひこにゃん」も、2019年から増加して、2021年は73%でした。

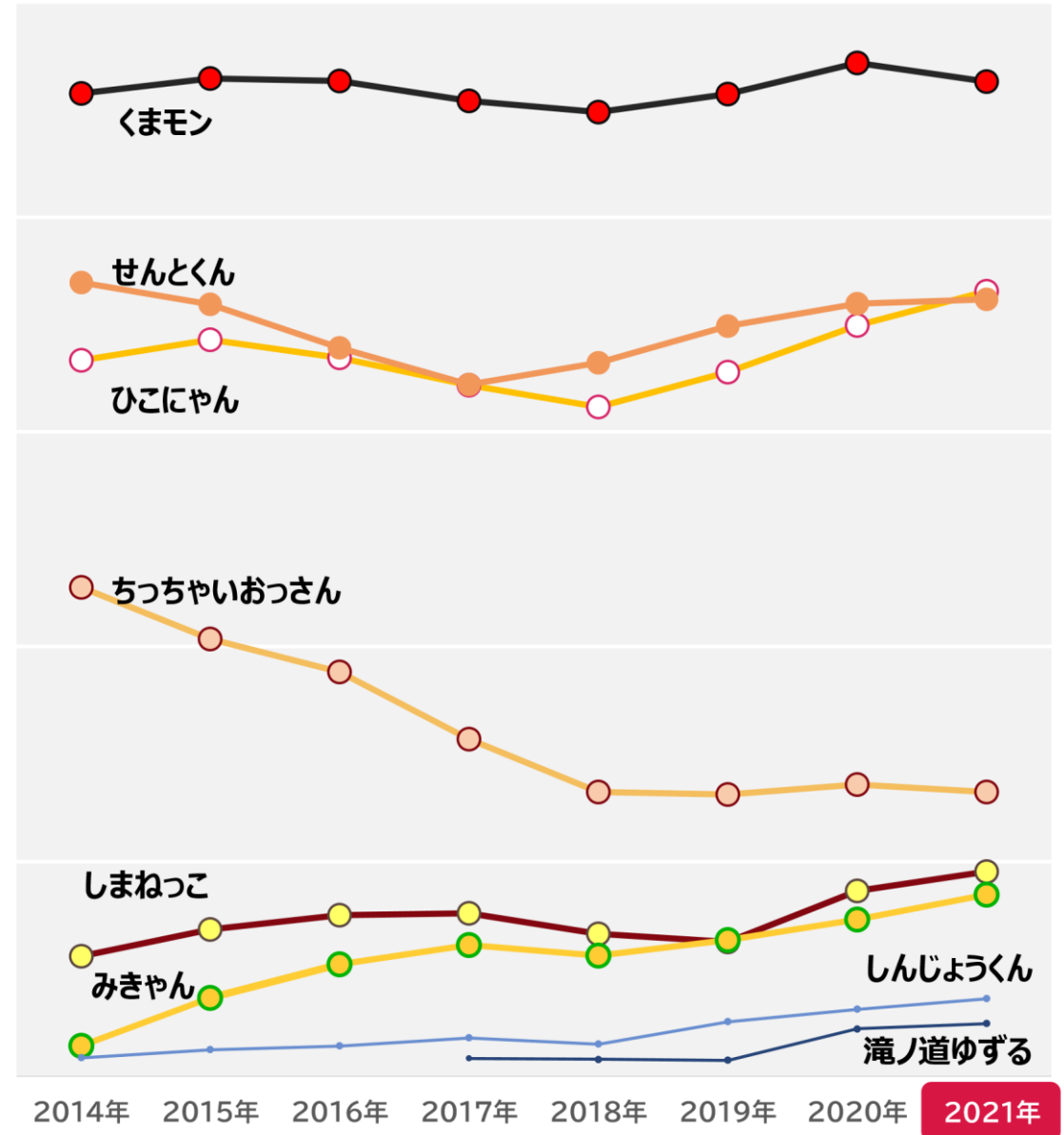
▼2014年に3%だった「みきやん」も緩やかに増加し、2021年は17%となっています。

認知度 ②近畿～九州のご当地キャラ

(n=1,200) 注：「-」は聴取なしを示す

		2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
近畿	ひこにゃん	67	69	67	64	62	66	70	73
	滝ノ道ゆずる	-	2	-	2	2	2	4	5
	ちっちゃいおっさん	46	41	38	31	27	26	27	27
	せんとかん	74	72	68	64	66	70	72	72
中国・四国・九州	しまねっこ	11	14	15	15	13	13	17	19
	みきやん	3	7	10	12	11	13	15	17
	しんじょう君	2	3	3	4	3	5	6	7
	くまモン	92	93	93	91	90	91	94	93

(%)
100



時系列での変化をみると、

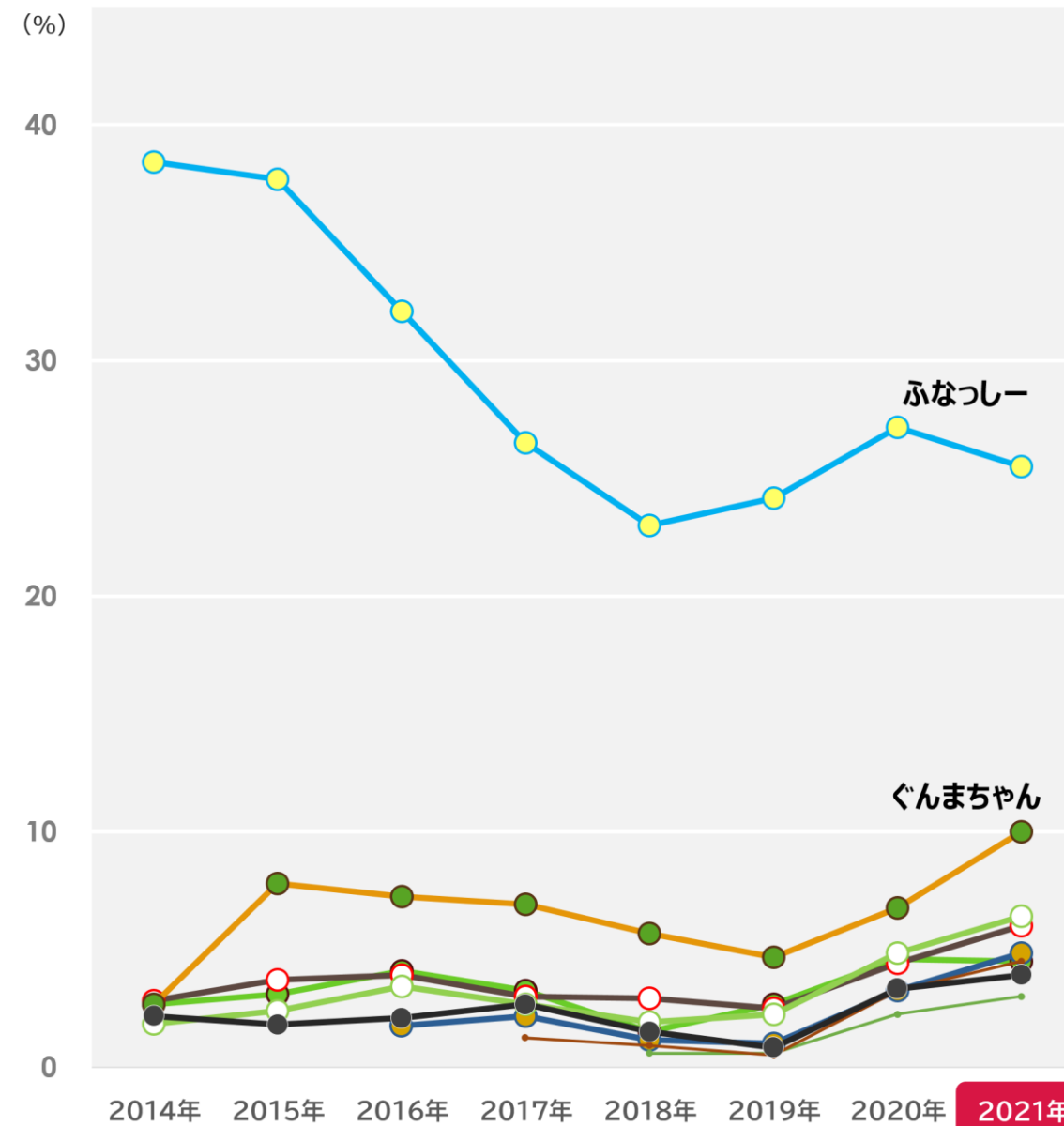
▼「ふなっしー」は2018年までは減少傾向でしたが、2021年は26%で、ここ数年は25%前後で安定しています。

▼「ぐんまちゃん」は昨年よりも上昇し、2021年は1割になりました。

好感度 ①北海道～中部のご当地キャラ

(n=1,200) 注：「-」は聴取なしを示す

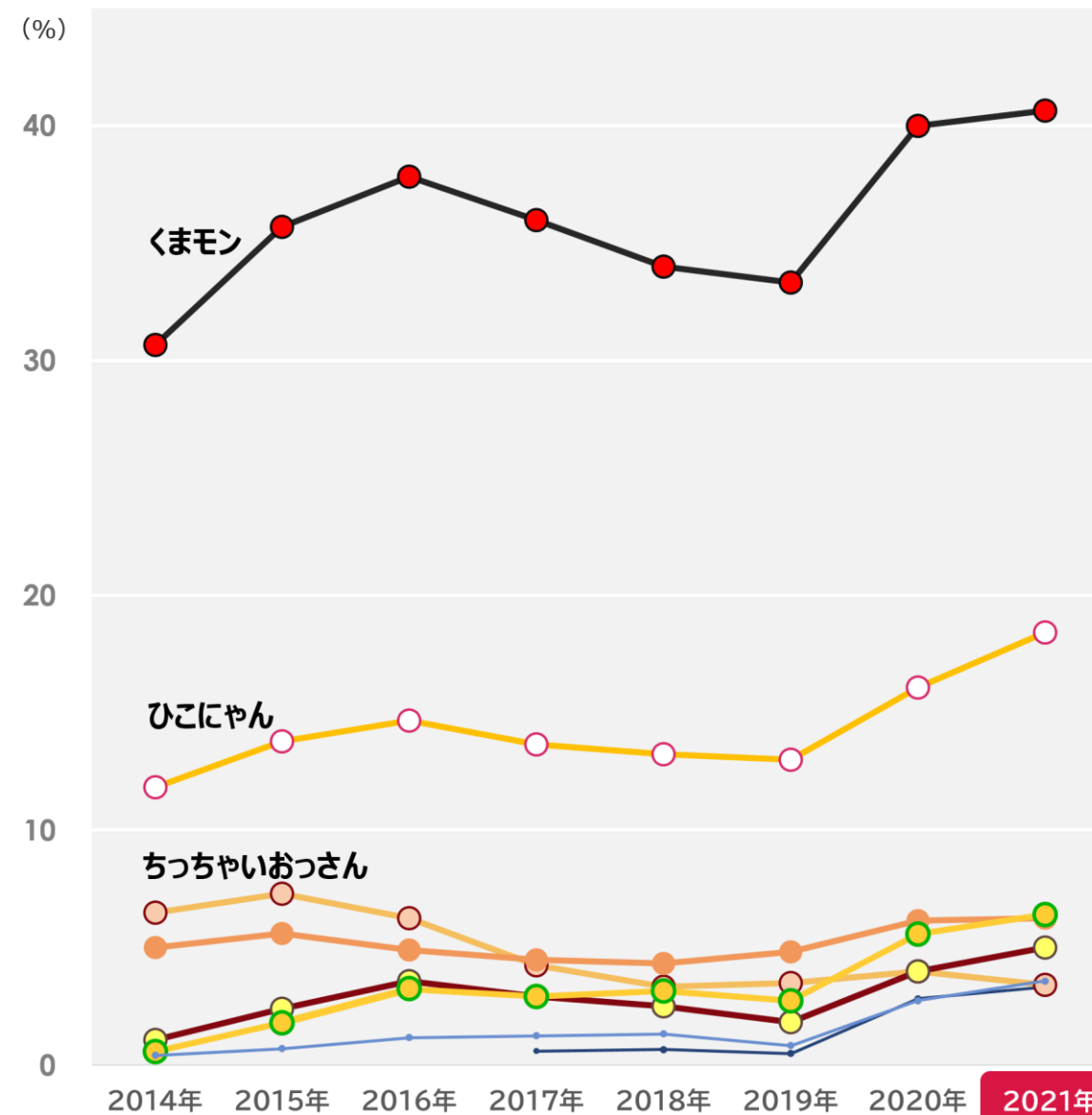
		2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	
北海道・東北	メロン熊	3	3	4	3	2	3	5	5	
	むすび丸	-	-	2	2	1	1	3	5	
関東	さのまる	3	4	4	3	3	3	4	6	
	ぐんまちゃん	3	8	7	7	6	5	7	10	
	ふっかちゃん	2	2	3	3	2	2	5	6	
	カバル	-	-	-	-	1	1	2	3	
	ふなっしー	38	38	32	27	23	24	27	26	
中部・北陸	アルクマ	-	-	-	1	1	1	3	5	
	オカザえもん	2	2	2	3	2	1	3	4	



時系列での変化をみると、

▼「くまモン」は、2014年から一貫して3割以上の高い好感度を維持し、さらに2020年以降は4割にアップしました。

▼「ひこにゃん」は、1割超で推移しており、2021年は18%と近年は増加傾向にあります。



好感度 ②近畿～九州のご当地キャラ

(n=1,200) 注：「-」は聴取なしを示す

		2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
近畿	ひこにゃん	12	14	15	14	13	13	16	18
	滝ノ道ゆずる	-	1	-	1	1	1	3	3
	ちっちゃいおっさん	7	7	6	4	3	4	4	3
	せんとかん	5	6	5	5	4	5	6	6
中国・四国・九州	しまねっこ	1	2	4	3	3	2	4	5
	みきやん	1	2	3	3	3	3	6	6
	しんじょう君	0	1	1	1	1	1	3	4
	くまモン	31	36	38	36	34	33	40	41

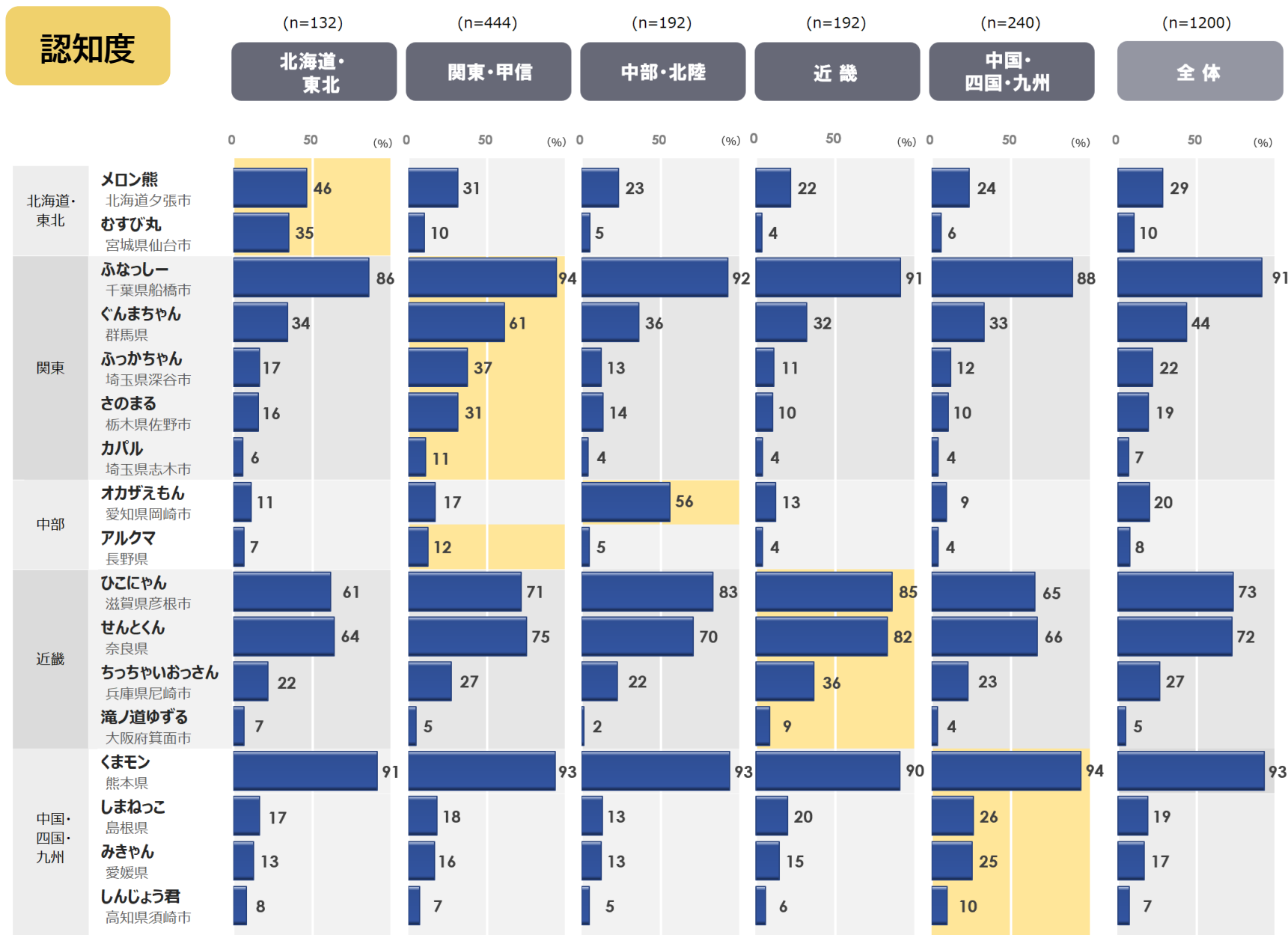
2021年エリア別と男女年代別 調査結果

エリア別に認知度の違いをみると、

▼ご当地キャラの名前の由来通り、2021年も地元エリアで認知の高さが目立つキャラクターが多くなっています。

▼「ひこにゃん」と「せんとくん」は、近畿では85%、82%と非常によく知られています。
また、それぞれのご当地エリアでは「メロン熊」(46%)、「ぐんまちゃん」(61%)、「オカザえもん」(56%)も、4割以上と高い認知率でした。

▼一方、「くまモン」と「ふなっしー」は別格で、いずれのエリアでも9割前後と高く、ご当地エリアを超えた全国レベルの有名キャラクターと言えます。



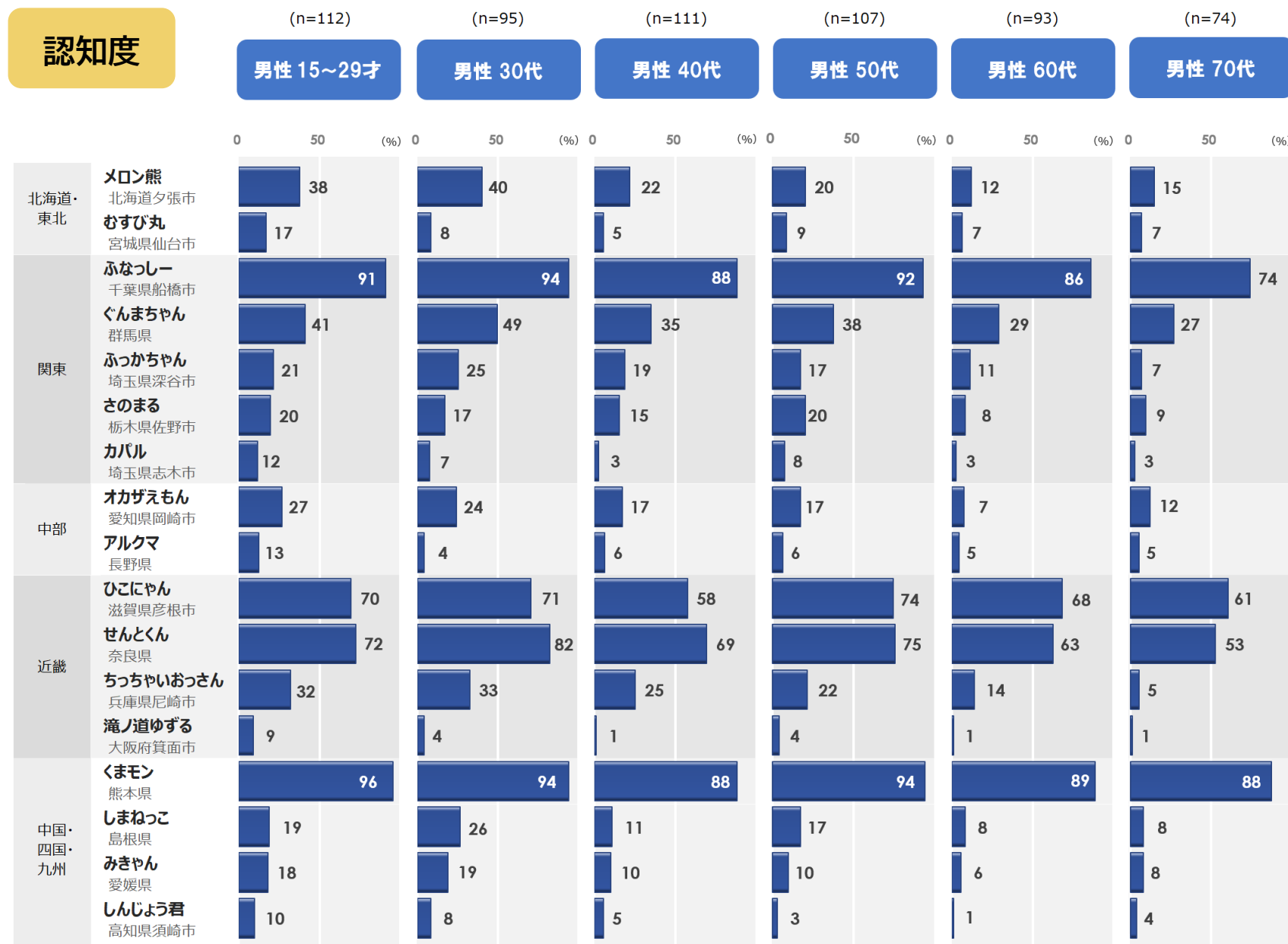
※ご当地グループごとに全体で多いもの順に並べ替え

男性・年代別に認知度の違いをみると、

▼「くまモン」は88～96%、「ふなっしー」は74～94%と、男性の全年代層で高い認知率でした。

▼また、「せんとかん」と「ひこにゃん」も各年代を通して、5～8割前後となっており、他のキャラクターと比べて高水準となっています。

▼男性の30代以下では、「メロン熊」は4割前後、「ぐんまちゃん」は40%台と若年層に集中して認知が高いキャラクターも存在します。

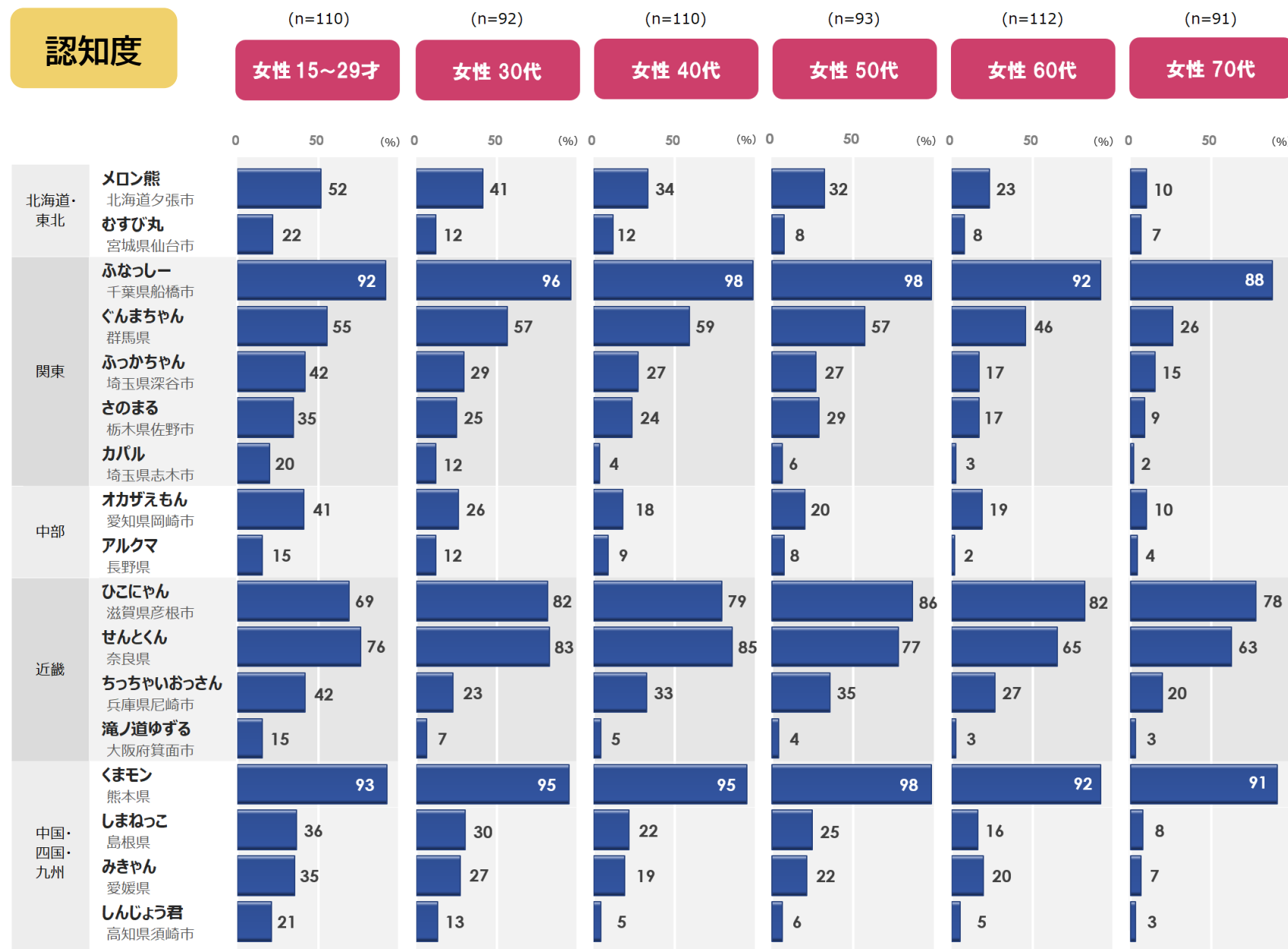


女性・年代別に認知度の違いをみると、

▼男性と同じく、女性でも「くまモン」と「ふなっしー」は全年代層で約9割以上と高い認知度でした。

▼また、「せんとかん」と「ひこにゃん」も各年代を通して、6～8割前後となっており、他のキャラクターと比べて高水準となっています。

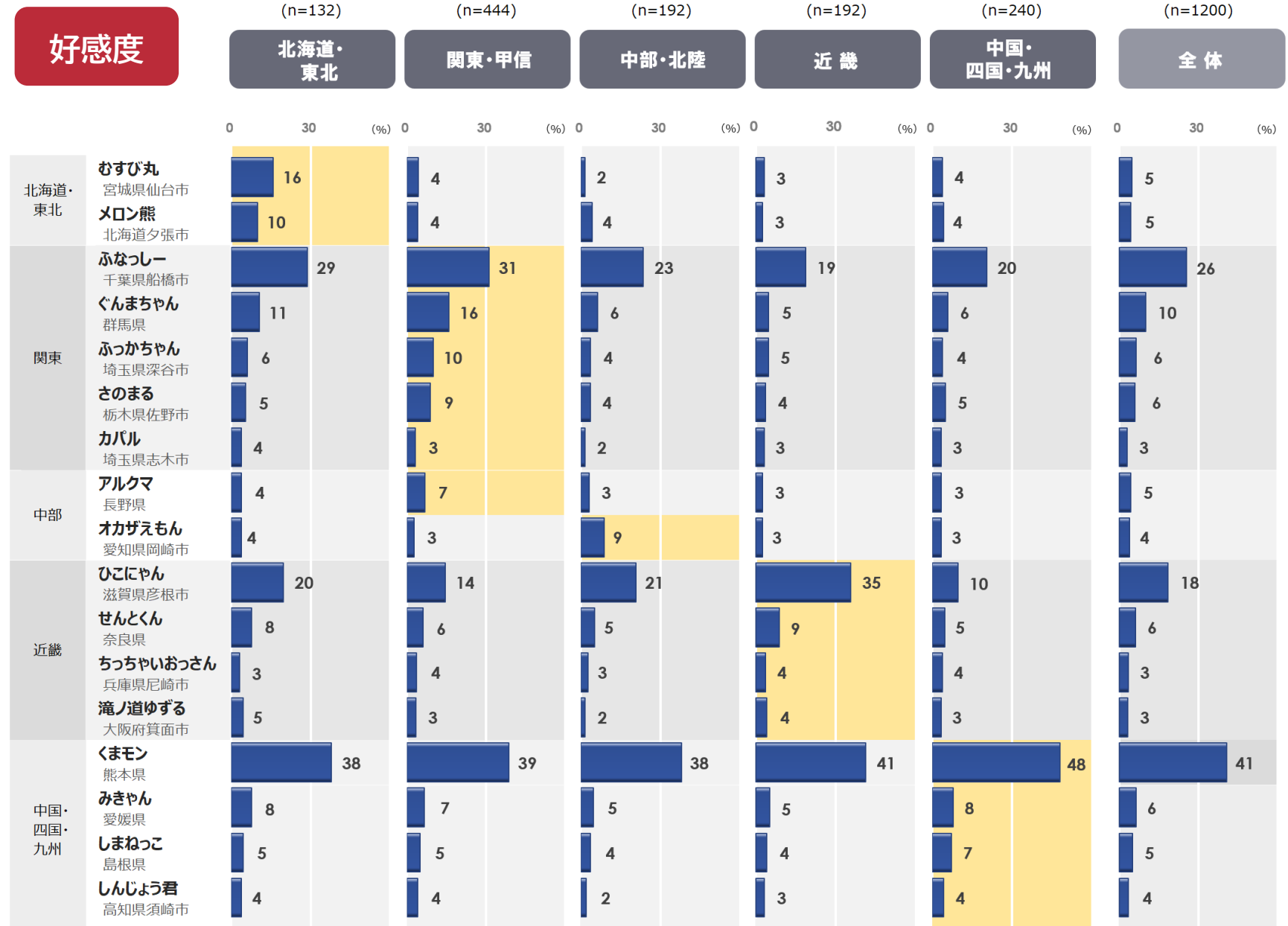
▼「メロン熊」は、30代以下では4割以上となっています。一方で、「ぐんまちゃん」は50代以下で5割台と高い認知度です。



エリア別に好感度の違いをみると、

▼「くまモン」は、全てのエリアで好感度1位です。さらに、ご当地である中国・四国・九州をみると48%と、他のエリアより高いのが目立ちます。

▼「ふなっしー」は関東（31%）、「ひこにゃん」は近畿（35%）が最も高く、どちらもご当地エリアでは好感度が3割を超えていました。

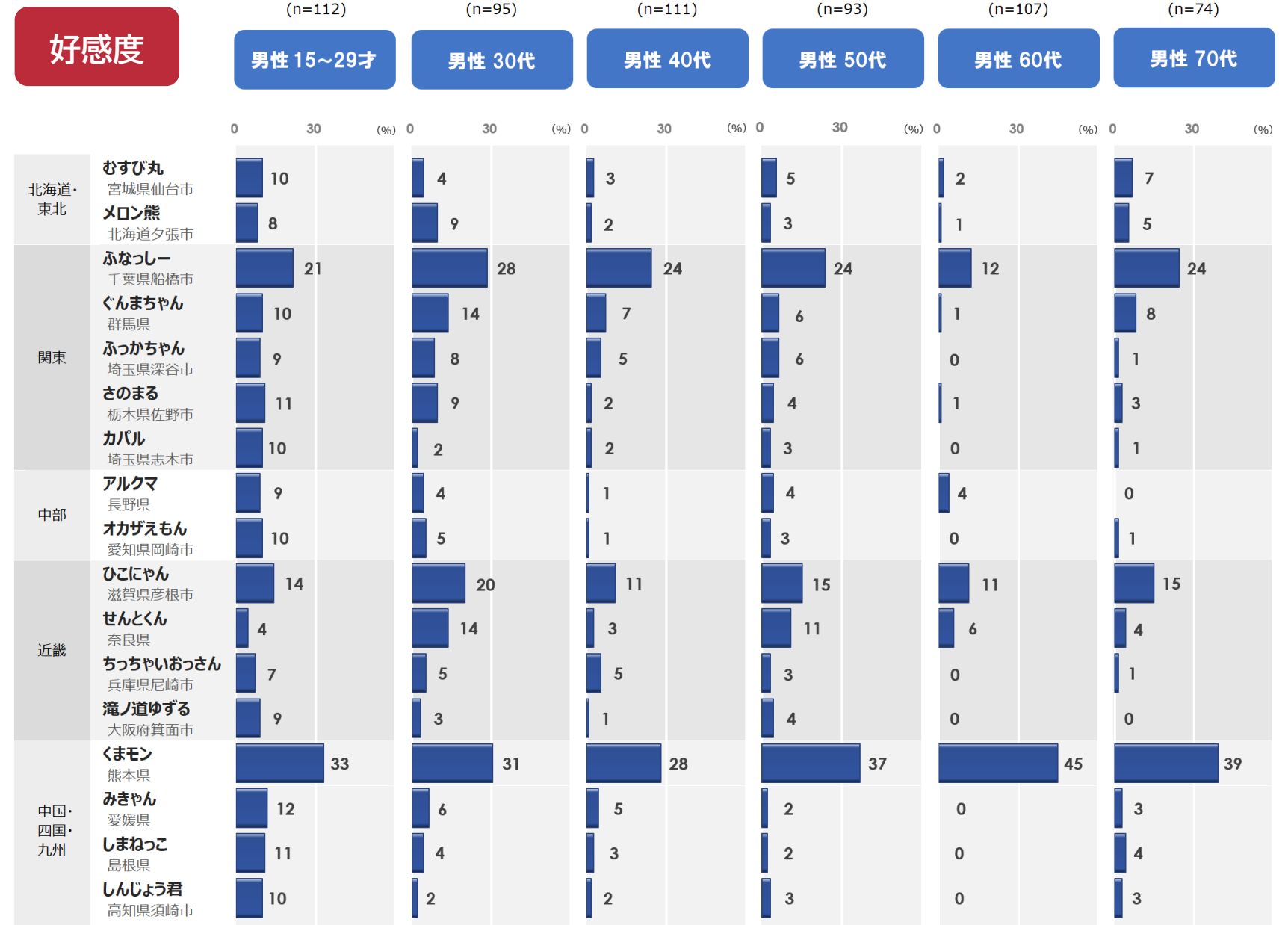


※ご当地グループごとに全体で多いものの順に並べ替え

男性・年代別に好感度の違いをみると、

▼「くまモン」は、男性のどの年代も好感度が1位で、また男性の中で最も高いのは、60代（45%）でした。

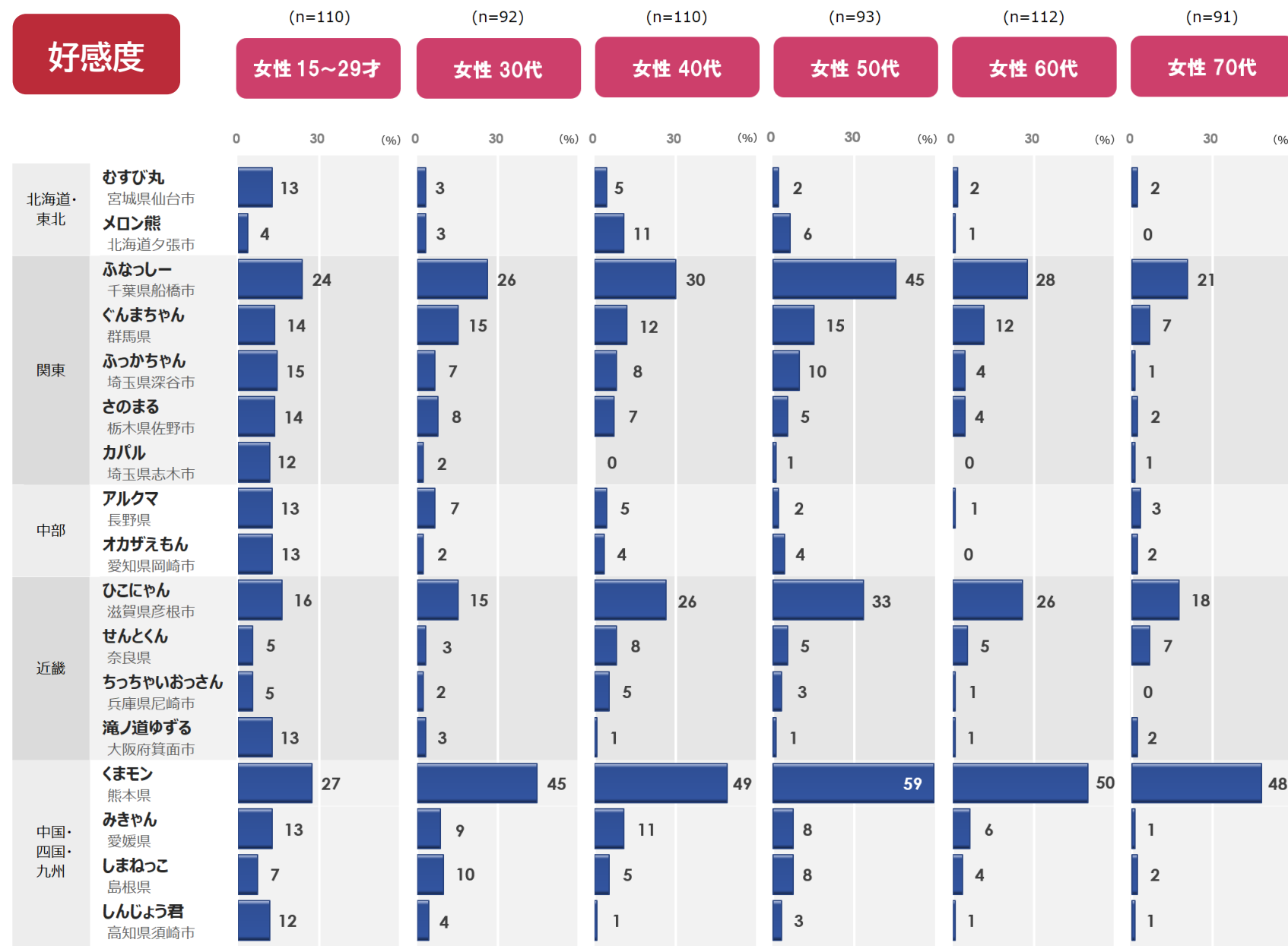
▼「ふなっしー」、「ひこにゃん」、「ぐんまちゃん」の好感度は30代（28%、20%、14%）で、最も高くなっています。



女性・年代別に好感度の違いをみると、

▼「くまモン」は30代以上では4割以上の好感度となっています。

▼「くまモン」(59%)、「ふなっしー」(45%)、「ひこにゃん」(33%)と、いずれも50代の好感度が最も高いです。



調査概要 / 提示キャラクター

調査方法

- NOS（日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ）
- 調査員による個別訪問留置調査

調査対象

- 全国の15～79歳の男女個人 1,200人
- ※エリア・都市規模と性年代構成は、日本の人口構成比に合致するよう割付

抽出方法

- 200地点を抽出
- 住宅地図データベースから世帯を抽出し個人を割当（一部エリアサンプリング）

調査期間

- 2021年12月調査（11/29～12/11） ※2014年～2019年は10月調査、2020年は11月調査

分析サンプル数

エリア

北海道・東北	132
関 東	444
中部・北陸	192
近 畿	192
中国・四国・九州	240

男女

男 性	592
女 性	608

男女×年代

男 性	15～29才	112
	30～39才	95
	40～49才	111
	50～59才	93
	60～69才	107
	70～79才	74
女 性	15～29才	110
	30～39才	92
	40～49才	110
	50～59才	93
	60～69才	112
	70～79才	91

NOS（日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ）について

調査パネルを使ってインターネットで簡単に情報収集できる時代になりましたが、NOSでは、50年にわたって、

①調査員を使った訪問留置、②パネルモニターではない毎回抽出方式で調査を継続しており、代表性のある信頼の高いデータを提供しております。

NOSは、定期的実施する乗り合い形式（オムニバス）の調査です。

毎回ランダムに決められた200地点にて、対象となる方に調査員が協力を依頼してアンケートを回収します（1,200票）。

性年代構成を日本の人口構成比に合わせているため、全体結果は日本を代表する意見としてそのままご覧になることができます。

インターネット調査では、回収が難しい高齢層やインターネットを使っていない人の実態や意識を分析するのににも有用な手法と言えます。

第8回（2021年）計31種

問1 ご当地キャラ（17）と企業キャラクター（14）

- 1) メロン熊（北海道夕張市）
- 2) むすび丸（宮城県仙台市）
- 3) さのまる（栃木県佐野市）
- 4) ぐんまちゃん（群馬県）
- 5) ふっかちゃん（埼玉県深谷市）
- 6) カパル（埼玉県志木市）
- 7) ふなっしー（千葉県船橋市）
- 8) アルクマ（長野県）
- 9) オカザえもん（愛知県岡崎市）
- 10) ひこにゃん（滋賀県彦根市）
- 11) 滝ノ道ゆずる（大阪府箕面市）
- 12) ちっちゃいおっさん（兵庫県尼崎市）
- 13) せんとくん（奈良県）
- 14) しまねっこ（島根県）
- 15) みきゃん（愛媛県）
- 16) しんじょう君（高知県須崎市）
- 17) くまモン（熊本県）
- 18) どーもくん /NHK
- 19) チコちゃん /NHK(チコちゃんに叱られる!)
- 20) ガチャピン&ムック /フジテレビ
- 21) (白い)お父さん犬 /ソフトバンク
- 22) P e p p e r（ペッパー） /ソフトバンク
- 23) ペコちゃん、ポコちゃん /不二家
- 24) キウイブラザーズ /ゼスプリ
- 25) チキンラーメン ひよこちゃん /日清食品
- 26) ヤン坊、マー坊 /ヤンマー
- 27) お買い物パンダ /楽天
- 28) ポンタ /Pontaカード
- 29) クオとペイ /Q U OカードP a y
- 30) ミライトワ・ソメイティ /東京2020公式マスコット
- 31) ビンドゥンドゥン、シュエ・ロンロン /北京2022冬季オリンピック・パラリンピック公式マスコット

第1回 2014年 計106種

- ご当地キャラクター 22
- 日本と海外の有名キャラクター 29
- マンガ・アニメキャラクター 28
- ゲーム・企業キャラクター 27

第5回 2018年 計89種

- ご当地キャラクター 24
- 日本と海外の有名キャラクター 28
- マンガ・アニメキャラクター 23
- ゲーム・企業キャラクター 14

第2回 2015年 計116種

- ご当地キャラクター 26
- 日本と海外の有名キャラクター 31
- マンガ・アニメキャラクター 30
- ゲーム・企業キャラクター 29

第6回 2019年 計83種

- ご当地キャラクター 18
- 日本と海外の有名キャラクター 26
- マンガ・アニメキャラクター 21
- ゲーム・企業キャラクター 18

第3回 2016年 計96種

- ご当地キャラクター 20
- 日本と海外の有名キャラクター 32
- マンガ・アニメキャラクター 24
- ゲーム・企業キャラクター 20

第7回 2020年 計84種

- ご当地キャラクター 18
- 日本と海外の有名キャラクター 26
- マンガ・アニメキャラクター 21
- ゲーム・企業キャラクター 19

第4回 2017年 計90種

- ご当地キャラクター 18
- 日本と海外の有名キャラクター 30
- マンガ・アニメキャラクター 21
- ゲーム・企業キャラクター 21

《 引用・転載時のお願い 》

本レポートの引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

連絡先：日本リサーチセンター広報室 メール：information@nrc.co.jp

掲載時には、必ず当社クレジットを明記いただき、
調査結果のグラフ・表をご利用の場合も、データ部分に当社クレジットの記載をお願い致します。